

講義名	商業簿記		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	孫 美瑛		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限 / 前期 金曜日 4時限		
履修開始年次	2年生	単位数	4
		講義コード	23094

主題と概要

簿記は企業の利益を計算するための技術で、利益計算には二つの意味が含まれています。一つは儲けたかどうかを知るための事後的な計算（この計算結果は株主、銀行、一般投資家など会社外部の利害関係者に開示される）、もう一つは儲けるための事前的な計算（この計算結果は経営者が経営戦略を立てるために用いられる）です。この計算技術の基本的な仕組みが理解できなければ、会社経営はもろろん会社の経営実態を理解することができません（たとえば、株式投資のため企業分析を行うとき）。簿記の計算技術によって作成される財務諸表には、会社の経営実態を把握するための豊富な情報が含まれています。本講義では財務諸表を読むための第一歩となる、複式簿記の基本をマスターすることを目的とします。講義内容は概ね日本商工会議所主催の簿記検定3級のレベルに相当します。

到達目標

日本商工会議所主催の簿記検定試験3級に相当する内容が理解できます。

提出課題

ほぼ毎回の授業で課題の提出を求めます。

評価の基準

平常点50%、定期試験50%の割合で評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は「基礎簿記」の知識を前提に授業を進めますので、「基礎簿記」を履修済みであるもしくはそれに相当する知識を有することが望ましいです。

教科書

.日商簿記3級に“とおる”テキスト 第2版(桑原知之とおる簿記シリーズ) .	ネットスクール 2,160円
.日商簿記3級に“とおる”トレーニング第2 桑原知之版(とおる簿記シリーズ).	ネットスクール 2,160円

プリント資料及び参考文献

<プリント資料>
講義中配布します。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	Chapter 1 身のまわりの簿記
第3回	Chapter 2 仕訳と転記
第4回	Chapter 2 仕訳と転記
第5回	Chapter 3 決算の手続き(1)
第6回	Chapter 4 現金と当座預金(1) 基本の処理
第7回	Chapter 5 現金と当座預金(2) 現金過不足、当座借越、小口現金
第8回	復習
第9回	第一回中間試験 試験範囲：Chapter1からChapter5まで
第10回	Chapter 6 商品売買
第11回	Chapter 6 商品売買
第12回	Chapter 7 手形
第13回	演習(1)
第14回	演習(2)
第15回	Chapter 8 その他の債権債務
第16回	Chapter 8 その他の債権債務
第17回	Chapter 8 その他の債権債務
第18回	Chapter 9 有価証券・固定資産
第19回	Chapter 9 有価証券・固定資産
第20回	復習
第21回	第3回中間試験 試験範囲：Chapter1からChapter9まで
第22回	Chapter 10 試算表作成
第23回	Chapter 11 決算本手続き(2)
第24回	Chapter 11 決算本手続き(2)
第25回	Chapter 11 決算本手続き(2)
第26回	Chapter 11 決算本手続き(2)
第27回	Chapter 12 精算表・財務諸表
第28回	Chapter 12 精算表・財務諸表
第29回	Chapter 12 精算表・財務諸表
第30回	復習

以上の計画は、講義の進み具合によって少し前後する可能性があります。当シラバスの作成時点で、第2版のテキストがまだ出版されていないため初版を元にシラバスを作成しています。

予習・復習

簿記の知識を習得するには、授業中の学習だけでは不十分で、必ず自宅での予習と復習が必要となります。その一方で簿記は正解が一つしかないため、自分の理解が正しいかどうか確認しやすく、こつこつ努力した成果が成績に如実に反映される科目でもあります。

備考